

武蔵一宮 氷川神社略記



武蔵一宮 氷川神社社務所

埼玉県さいたま市大宮区高鼻町1-407

TEL 048-641-0137(代)

FAX 048-647-1213

<http://musashiichinomiya-hikawa.or.jp/>

氷川神社までのご案内

電車で
大宮駅 / 徒歩 15分

東武アーバンパークライン(野田線)
北大宮駅 / 徒歩 10分

お車で
首都高速道路
新都心西インター
約 15分

東北自動車道
岩槻インター
約 20分



駐車場の案内

第一駐車場、第二駐車場、西駐車場があります。(但し、時間により使用が制限されます)なお、大型バス等の駐車につきましては、あらかじめお問合せ願います。

人生儀式等 ご案内

各種御祈禱は午前九時より午後四時の間受付しております
(予約は行っておりません)

交通安全祈願	交通安全、事故防止の為、交通安全祈願を行い、お車のお祓いをいたします
厄除け祈願	女子は十九歳、三十三歳、男子は二十五歳、四十二歳を厄年といい、厄除け祈願をいたします
神前結婚式	千古の神域より新しい人生の門出を祝し、挙式をいたします
成人祝	男女ともに満二十歳の年に成人式をして祝います
合格祈願	中学校、高等学校、大学とそれぞれ合格祈願を致します また無事入学した方の在学中の御加
学業成就	護を願い学業成就祈願を致します
七五三祝	男児とも三歳を髪置、男児五歳を袴着、女児七歳を帯解の祝として、十一月十五日に神社に参拝します
初宮詣	男児は三十一日目、女児は三十二日目または三十三日目にお宮参りをいたします
命名	誕生から七日目をお七夜の祝いといい、この日までに名付をいたします
安産祈願	妊娠五ヶ月目の戌の日に安産祈願をし、岩田帯をしめます

例祭 れいさい

例祭は八月一日午前十時より齋行され、天皇陛下より勅使の御差遣、東游が御奉納され、荘重厳粛な祭儀が執り行われます。



(勅使の参向)

鎮花祭 はなしずめさい

桜花の栄えるのを寿ぐとともに、人々の健康と安寧を祈り、四月五日より七日の間、花しずめ舞が童女奉仕により奉納され、境内は多くの参拝者で賑わいます。



大湯祭 だいとうまつり

大湯祭は俗に十日市・熊手市ともいわれ、十二日間に亘る長い祭典です。十二月十日には境内に縁起の露天が立ち並び、西の市として全国的に有名です。



武蔵一宮 氷川神社境内案内図



武蔵一宮 氷川神社

御祭神 須佐之男命 稲田姫命 大己貴命
例祭日 八月一日

御由緒

今から二千四百有余年の昔、第五代孝昭天皇の御代三年四月の御創立で、聖武天皇の御代各国に一の宮の制を定められた時、武蔵一の宮と称えられ、醍醐天皇の御代に定められた延喜式には名神大社として月次新嘗実上官幣に預かり、また臨時祭にも奉幣に預かったことが記されています。明治の御代に至っては元年(一八六八)十月二十八日明治天皇当神社に行幸、御親祭なされ、当国の鎮守勅祭の社と定められ、次いで四年五月官幣大社に列せられました。年々の例祭には勅使の御差遣、東游の御奉納などがあり、荘重厳肅な祭儀が行われます。

また、氷川神社名の社は大宮を中心に、埼玉県下及び東京都下、神奈川県下に及びその数は二百八十数社を数えます。武蔵国造の子孫がこの大宮の地を本拠として民族的政治的に著しい発展をしたことを物語っているものと考えられます。

社殿の沿革

上代のことは詳かにすることは出来ませんが、治承四年(一一八〇)源頼朝公が土肥次郎実平に命じて社殿を再建、文祿五年(一五九五)八月には徳川氏、伊奈備前守忠次を奉行として、社頭を残らず造営せしめ、次いで寛文七年(一六六七)三月には阿部豊後守を奉行として社殿の建立をしております。以来幾度の御造営あつて、今の御社殿は昭和十五年(一九四〇)六月の竣成で、流造りであります。

境内

神社は元神領の大宮公園を控え、広大な聖地として、境内の広さ約三万坪、古杉老松は古えをしのばせ参道の長さは中山道の一の鳥居から約二キロメートル、旧国道十六号ぞいの二の鳥居は高さ十三メートルで、檜造では日本一の高さをほこります。境内には楼門あり、舞殿あり、神橋あり、池水満々、四時の眺め輪奐の美を極め、靈気おのずと襟を正さしめます。

祭儀

祭儀	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
歳旦祭	一日											
日供始祭	二日											
元始祭	三日											
節分祭	節分日											
的禊事	七日											
紀元祭	十一日											
祈年祭	十七日											
郷神楽祭	十五日											
春分祭	春分の日											
鎮花祭	五・七日											
昭和祭	二十九日											
祝子祭	五日											
御鎮座祭	九日											
道豐祭	二十一日											
糺禊事	五日											
大祓式	三十日											
例祭前日祭	三十一日											
例祭	一日											
祓禊祭	二日											
敬老祭	十五日											
秋分祭	秋分の日											
拔穂神事	九日											
神嘗奉祝祭	十七日											
朔瓶祭	二十一日											
明治祭	二十三日											
新嘗祭・敬神講社大祭	十月十日											
大湯祭	十一月十一日											
誓詔祭	十一月二十三日											
天長祭	十一月三十一日											
大祓式・除夜祭	十二月一日											
月次祭	毎月十五日											
献詠祭	毎月十五日											

境内の神社

末社	攝社	攝社
稲荷神社	山祇神社	門客人神社
御嶽神社	石上神社	天津神社
松尾神社	愛宕神社	宗像神社
天満神社	雷吉神社	
神明神社	住吉神社	
菅原道真公		
上筒男命		
中筒男命		
底筒男命		
大雷		
迦具土		
布都御魂		
大山祇		
田寸津比売		
市寸島比売		
多起理比売		
少彦名		
手摩乳		
足摩乳		